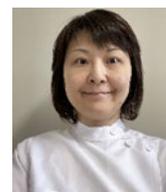


「今だから見直したい，診療室の守り方-感染制御の観点から-」

岡山大学病院 歯科・口腔インプラント科部門

縄稚 久美子



新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の国内感染者が初めて確認されてから1年9か月が経過しようとしている。口腔内を直接診察しなければならない我々歯科医療従事者は，コロナリスクが高い医療関係者の中でもさらに高リスクの職種とされている。そのため，通常のスタンダードプリコーションに加えて，飛沫感染を防ぐ立場からコロナ対策を行い，この未解決のウイルス感染症の危険の中診療業務を行なっている。具体的には，エアタービンなどの切削器具を使用する際のエアロゾル対策など，歯科特異的な感染対策について見直しや改良を重ねてきた。どうしたら，患者や医療関係者，さらには診療室が守れるか検討しなかった歯科医院はないのではないだろうか？

今回はスタンダードプリコーション（基本的な標準予防策）の考え方から，実際の診療室内での感染制御作法についてお話し，患者を，スタッフを，そして私たち自身とその家族を守るために必要な感染対策を継続的に実施できる体制を考えていきたい。

#### 【 略歴 】

1999年 岡山大学 歯学部 卒業

2003年 岡山大学大学院歯学研究科 修了

2005年 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 助手

2010年 倉敷成人病センターJGH DENTAL CLINIC SINGAPORE 常勤歯科医師

2011年 岡山大学病院 クラウンブリッジ補綴科 助教

2013年 岡山大学病院 感染制御部 職員会議委員（兼務）

2020年 岡山大学病院 歯科・口腔インプラント科部門（所属名称変更） 助教

現在に至る

資格：

日本老年歯科医学会 専門医 指導医

日本口腔顔面痛学会 認定医

日本口腔リハビリテーション学会 認定医 指導医

日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士

インфекションコントロールドクター